

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(2)-ウ	子ども・若者の育成支援	施策	①子ども・若者の支援に向けた環境づくり	
			施策の小項目名	○支援ネットワークの構築	
主な取組	ひきこもり対策推進事業			実施計画記載頁	99
対応する主な課題	①子ども・若者をめぐる環境が悪化し、ニート、ひきこもり、不登校など子ども・若者が抱える問題が深刻化してきていることから、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者を総合的に支援する体制を整備する必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
ひきこもり状態にある者やその家族への支援を行うため、ひきこもり専門支援センターにおいて、①相談支援、訪問支援、②関係機関職員を対象とした研修の実施、③関係機関で構成する連絡協議会の実施、④ひきこもりに関する普及啓発(情報発信)を行う。						
実施主体	県	ひきこもり状態にある者やその家族等への相談支援、関連機関へのつなぎ等				
担当部課【連絡先】	保健医療部地域保健課	【098-866-2215】				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	ひきこもり対策推進事業費						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
	主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	
各省計上	補助	—	—	—	9,263	10,000	18,138	各省計上	○H29年度: ひきこもり状態にある者やその家族への支援を行うため、相談支援、訪問支援、研修の実施、連絡協議会の実施、普及啓発を行った。 ○H30年度: ひきこもり状態にある者やその家族への支援を行うため、相談支援、訪問支援、研修の実施、連絡協議会の実施、普及啓発、講演会を行う。
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	ひきこもり支援地域連絡協議会開催回数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	2	3	3	100.0%	10,000	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						①関係機関の事例等を議題とし、支援方法等についての検討会を3回実施した。 ②関係機関での情報共有や、支援体制についての情報共有のため、ひきこもり支援地域連絡協議会を3回実施した。 ③関係機関等へひきこもりに関する普及啓発のためリーフレット等により周知を行った。				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・平成28年度に沖縄県ひきこもり専門支援センターを開所し、相談員が3名配置され、細やかな相談体制が図られつつあるが、相談内容の複雑化や困難事例に対応するため、相談員の増員や、各関係機関における相談員等の専門的な知識の習得が求められる。

#### ○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ひきこもり支援機関事例検討会を実施し、関係機関が抱える困難事例について、より適切な支援方法についての検討を図る必要がある。
- ・関係機関で構成する連絡協議会、ひきこもり支援者研修会を実施し、より適切な支援が展開されるよう関係機関における連携強化、相談対応の資質向上を図る必要がある。
- ・ひきこもりに関する普及啓発(情報発信)を行ない、充実した相談対応と、支援体制の周知を図る必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

- ・ひきこもり支援機関事例検討会を実施し、関係機関が抱える困難事例について、より適切な支援方法についての検討を図る。
- ・関係機関で構成する連絡協議会また、ひきこもり支援者研修会を実施し、関係機関における連携強化、相談対応の資質向上を図る。
- ・ひきこもりに関する普及啓発(情報発信)として、リーフレット等の配布やひきこもりに関する講演会を行い、充実した相談対応と、支援体制等の周知を図る。